

科学技術週間における施設一般公開について

去る4月18日(日)に建築研究所(協力:国土技術政策総合研究所)による施設一般公開を行いました。天候にも恵まれ、今年は286名という多くの方々に来所いただきました。

午前10時から午後4時までA、B、Cの3つのグループに分かれて、風雨実験棟、建築材料実験棟、設備実験棟、実大火災実験棟、通風実験棟、基礎・地盤実験棟、火災風洞実験棟、実大構造物実験棟を見学していただきました。

施設一般公開におきましては、今後も皆様のご期待・ご要望にお応えできるよう企画いたしますので、ぜひ一度足を運んでみて下さい。

※ 以下は、公開風景です。



○強風を体験してみよう

(写真:風雨実験棟)

強風による建物の被害を紹介。風洞の中に入り実験で使用している風を体験。



○コンクリートの強さを調べてみよう

(写真:建築材料実験棟)

コンクリートの圧縮強度試験を見て、いかにコンクリートが堅牢で重要な材料であるかを知る。



○超々節水トイレの実力を見てみよう

(写真:設備実験棟)

1回の洗浄水量が600mlの超々節水トイレを用いた疑似汚物の流下実験を実施し、水資源保全・環境負荷低減効果について説明。



○炎の熱を測ってみよう

(写真:実大火災実験棟)

日常生活や火災から受ける輻射熱を体験。輻射熱で衣類が着火する状況を見学。



○風の流れ方を見てみよう

(写真:通風実験棟)

煙と風車を使って、建物の周りの風の流れ方を見学。建物・窓により様々に変わる風の流れを紹介。



○地面が揺れるとどうなるか見てみよう

(写真:基礎・地盤実験棟)

地面を揺らし、地盤の様子を見えます。地盤の強さがいかに重要なのかを知る。



○火の粉による延焼を見てみよう

(写真:火災風洞実験棟)

風により火の勢いが増す様子を見て強風時の火事の怖さを知る。



○地震時の建物の揺れを体験してみよう

(写真:実大構造物実験棟)

長周期地震動による揺れを、大ストローク振動台に乗り、地震時の超高層建物の揺れを体験。